

# 北般若だより

2026 年(令和 8 年)1 月 1 日  
第 346 号  
北般若自治振興会  
北般若公民館

## 謹 賀 新 年 今年も「身近なニュース」を地域の架け橋に

### 2025 年 北般若 10 大ニュース

令和7年末に各自治会長と公民館長に加え編集委員で1～12月の北般若だより見出しを基に、10大ニュースを選んでもらった。結果は以下のようになりました。

- ① 『地域バス』の実証運行始まる
- ② 北般若分団 ポンプ車操法で優勝
- ③ eスポーツ交流会が開催
- ④ 第60回戸出七夕まつり
- ⑤ 戸出七夕飾り 1000本/7月4日～7日



- ⑥ 戸出東部小学校60周年記念式典
- ⑦ 高岡市総合防災訓練が開催
- ⑧ 現状の米問題と農政について
- ⑨ 夏です！ 今年も見事な花壇
- ⑩ 旧北般若小学校の門柱撤去

2025年は、物価高の年となり特に主食の米が高騰、政府は備蓄米を放出し対応しました。4月には、大阪・関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催され、国政では女性初の首相、高市政権が発足し高い支持率を得ています。秋は熊の出没が最多で人身被害も多く、この年の漢字は「熊」でした。

### 北般若地区等の動き

1/10 高岡市消防出初式    1/11 「二十歳の集い」    1/15 なのはな元気教室  
1/10 西部金屋 左義長    1/11 石代・吉住・吉住新・大清水・春日 左義長

### 祝 角玄富雄氏 総務大臣表彰

角玄富雄氏は『令和7年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰』を受賞した。11月26日、総務省講堂において林芳正総務大臣より全国174名の被表彰者を代表して賞状を受けた。これは、自治会、町内会等の地縁による団体の代表者として多年にわたり在職し、地域活動を通じて良好な地域社会の維持及び形成に顕著な功績があったと認められる者に対し総務大臣が表彰するもので、同氏が長年にわたり東町自治会、戸出地区自治会連絡協議会、高岡市連合自治会等の会長を務めたことが認められたものです。

北般若地区を代表して、お祝い申し上げます。  
北般若自治振興会会長 玉井邦昭

### 北般若の人口

地 区	男	女	計	世帯数(前年比)
西部金屋	233	224	457( -6)	195 (-6)
石代	55	51	106( -2)	43 (-1)
吉住新	24	23	47( +3)	22 (+1)
吉住 および 又新住宅	241	295	536( +5)	205 (+6)
大清水	176	180	356(-25)	146 (-5)
春日	157	164	321(-12)	115 (±0)
徳市	34	30	64(±0)	23 (+1)
合計	920	967	1887(-3)	749 (-4)

R7年11月30日現在    資料提供:高岡市

### 国宝 紅白梅図屏風を観賞

11月26日、戸出東部小学校で「尾形光琳作の国宝紅白梅図屏風」の複製(原寸大)を活用した鑑賞会が行われ、4～6年生の児童およそ100人が日本美術を代表する作品に見入っていた。



屏風は、MOA美術館 高岡児童作品展 実行委員会 林 泰子(大清水)氏の尽力により、戸出東部小学校創校60周年記念式典(11月22日)において特別に展示・紹介されたものである。鑑賞会当日は、北陸富山チーム サブチーフの千葉 征治 氏に解説を担当していただいた。左右に描かれた躍動感ある梅、金色に輝く背景、迫力ある作品を間近で鑑賞した児童は「作品の真ん中に大きな川が流れているようだ」「梅の横に書いてある小さな文字は何と読むのだろう」「背景が輝いて見える」など、創造力豊かに屏風を見た印象を述べ合い、見事な作品に心を動かされていた。

高岡市立戸出東部小学校教頭 宮森 美香

### 地域バス まず乗ってみよう！

12月1日午前8時10分「地域バス実証運行出発式」を北般若公民館で執り行った。出発に際し戸出地区自治会連絡協議会の角玄会長より「戸出地区での運行に向けて北般若地区で実証運行を開始するが、近い将来戸出市民の足になる」と力強い挨拶の後、本田・梅島両市議、醍醐・是戸両連合会長他市関係者が見送る中、第一便がスタートした。

初便の南ルートは2名、北ルートは1名を乗せショッピング街



やなのはなクリニックまで送った。途中雨が降り「傘立や傘の設置」等改善点も見えた。今回、利用者から、手摺りや乗降用ステップも使い易いとか、帰りの時間まで少々長いとの感想もあった。この運行は年末年始を除く平日に来年1月末迄無料運行する。現在必要のない方も将来を見据え、是非利用し意見をお聞かせ願いたい。本格運行に繋げるのは行政ではなく、利用される皆さん自身です!!    徳市自治会長 吉田 宗夫

### 工場見学・鋳物製作体験講座 実施

11月27日に榊能作の工場見学と鋳物製作体験の講座を開催し、小皿やぐい呑みなどの鋳製品の製作に挑戦致しました。砂を飛び散らせ、悪戦苦闘しましたが、自分だけの作品ができあがりました。支援員 中井

### 西部金屋ゆらい学びシリーズ第3弾

12月13日元県埋蔵文化センター所属、現となみ散居村ミュージアム館長の安念幹倫先生を招き「となみ野の地歴から窺う北般若と西部金屋」と題して遠い昔の時空をさまよう楽しい夢のひと時を過ごした。



般若野荘は鎌倉時代の荘園名に由来し現在の中田・梅檀野・庄東・庄西に発祥、江戸時代になって68村から般若郷になり当時は現千保川が本流ゆえこの関係で北・東・南・般若に分かれたとのこと。

西部金屋には、1428年頃、荘・郷・保の括りがあり般若野荘の西側の保に鋳物師衆が住みついた。

この時代般若野々庄金屋、1619年西保かなや、1699年西部金屋村の変遷が記されている。鋳物師との関係は当時武器として刀や鉄砲が重宝され、砂鉄や木材(炭)生産そして輸送要因などからこの地に。江戸時代には太平となり武器から梵鐘や農具などに進化していったと云う。    ゆらい学びの会世話役

